



<教育目標>

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

平成 29 年 2 月 1 日発行

No. 13 校長 矢口 仁

地の塩 世の光 — 勇気について — 校長 矢口 仁

勇気こそ地の塩なれや 梅真白 中村草田男

2月に入りました。4日が「立春」、暦の上の春がやってきます。しかし、先週から寒さと乾燥により、インフルエンザにかかる生徒が増えています。睡眠・食事をしっかりととり、手洗い・うがい・換気という基本的なことを確実にを行い、この季節を乗り切ってほしいと思います。ご家庭でもご協力よろしくお願いします。



冒頭の俳句中の「地の塩」という言葉を調べてみました。これは、山上の垂訓（＝イエス・キリストが山の上で弟子たちや群衆に語った教え）に出てくる「地の塩、世の光」の一部です。「地の塩は、他者によって生成せしめられるものでなくて自ら生成するもの、他者によって価値づけられるものではなくて自らが価値の根源であるもの。」…と自句について筆者は語ります。

私は、「社会（＝地）を腐敗させないもの（＝塩）」という解釈が気に入り、真っ白に咲く梅を見て、「勇気」こそがこの世の中を腐敗させないものだとして理解しました。

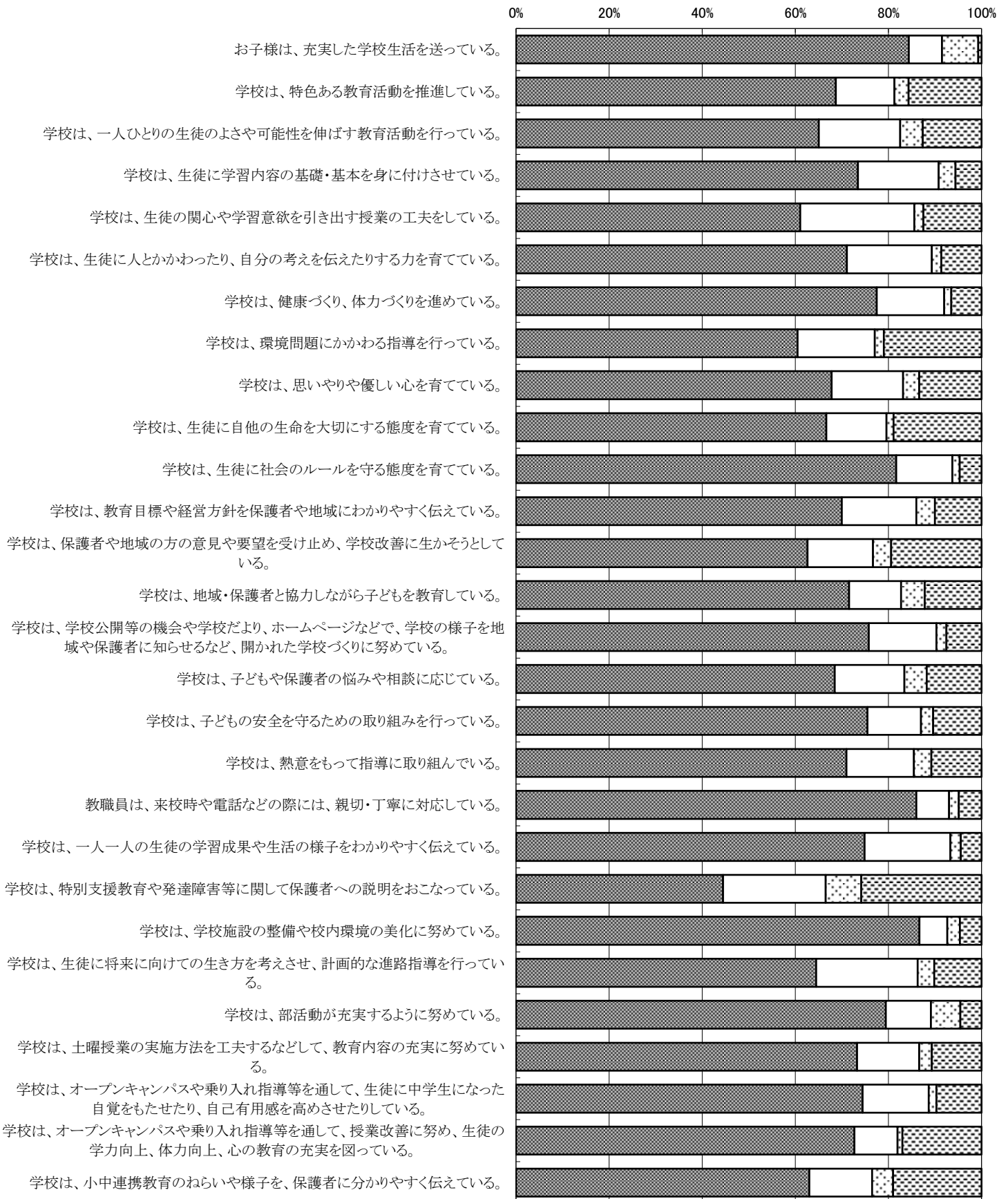
さて、「ゆうき」という絵本（レイフ・クリスチャンソン著）が学校図書館にあります。短い絵本ですが、その後半は以下のような文章でまとめてあります。

飢えた子どもがいても 不幸な人がいても なんとも感じない人  
そんな人は失敗をしない  
まちがいに気づいても 気づかないふりをする人  
自分のところを 鏡にうつしてみる余裕のない人  
正義も自由も平和も はじめからあきらめている人  
そんな人は失敗しない  
そんな人が 失敗をおそれないゆうきを 少しだけもってくれたら  
地球は住みよくなるだろう

自分から進んで発言する時、電車等で席を譲る時、白い杖で歩いている人を案内しようとする時……ちょっとした勇気が必要です。でも、一度やってみると、なんでもないことのように感じます。一人ひとりが、自分にできる小さな勇気を出した行動をすることによって、社会全体が住みよくなっていくのでしょうか。

# 平成28年度 保護者アンケート

■十分    ▣まあ十分    □やや不十分    ◻不十分    ◻わからない



## ☆ 保護者の皆様からのアンケート結果

左のグラフは、12月にご協力をいただいた保護者の皆様からのアンケートの集計です。多数の皆様にご回答をいただき、ありがとうございました。(回収率 78.4%) 今後も、本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

### (1) 「十分」「まあ十分」の評価が多かった項目について

例年と同じ傾向ですが、「お子様の充実した学校生活」「社会のルールを守る態度を身に付ける指導」「来校時・電話における教職員の丁寧な対応」「校内施設の整備や環境美化」の4項目は、80%を超えていました。今後、さらに高い評価の項目が増えるよう、改善を目指していきたいと思います。

### (2) 「十分」「まあ十分」の評価が少なかった項目について

「生徒の関心・意欲を引き出す授業の工夫」「保護者や地域の方の意見を受け止めての学校改善」「特別支援教育、発達障害等についての説明」「小中連携教育についての保護者へのわかりやすい説明」の項目が低い評価でした。

特に、保護者や地域の方の意見を受け止め、学校改善に生かそうとしているという項目の評価が低かったことを重く受け止めたいと思います。

以下、自由記述の意見を紹介します。改善できる点を、今後検討してまいります。

#### 【部活動に関連して】 (→ 以下は、現段階での学校の考え方です。)

- 部活動で外部からきちんと来てもらえるコーチをお願いしてもらいたいです。子どもたちにやる気があるのに、もったいないです。  
→ 現在、四つの運動部と二つの文化部で外部指導員を活用しています。予算に限りがありますので拡大することは難しいのですが、今後も外部からの指導者を有効に活用して、生徒たちの健全育成に資していきたいと思います。
- 部活動(体育系)に自己負担費用がかかり過ぎるのでは? 管理のしやすさや統一感を持たせる意味があるのは理解できますが、試合着用のユニフォーム以外の物までそろえて作る必要があるとは思えません。練習用には、手持ちのシンプルなTシャツだけで十分だと思います。毎日の洗濯でも助かります。  
あくまで公立中学での部活動ということを考えていただきたいです。経済的な理由で部活動をあきらめる生徒さんもいらっしゃるのではないのでしょうか?  
→ 公立中学校として、保護者の費用負担を減らしていくことは当然のことと考えています。現在、運動部で何かを購入する際は、保護者の了解を得てからという原則がありますことをご理解ください。活動の際の服装については、今後、部活動顧問会で検討していきます。
- 再登校の時間の行き来で時間をとられてしまうため、自習していただきたいです。最近図書館が利用できるようになってよかったです。  
→ 職員会議等、全教職員が会議をする場合、再登校をお願いしています。生徒を残して、安心して自習させるための場所の確保は不可能です。図書館の利用については、特別な理由がある場合にだけ認めています  
再登校については、今後も、ご理解・ご協力をお願いしたいと思います。

☆ 2月の主な行事予定

1	水	職員会議
2	木	
3	金	節分
4	土	立春
5	日	東京駅伝 (味の素スタジアム)
6	月	朝礼
7	火	都立出願
8	水	職員会議
9	木	
10	金	都内私立入試始
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	安全指導
14	火	
15	水	職員会議
16	木	
17	金	雨水
18	土	学校公開 新入生保護者説明会③
19	日	
20	月	朝礼
21	火	
22	水	中学校教育研究会 発表会
23	木	学校保健委員会
24	金	都立学力検査 学校評議員会
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	第四回定期考査始

【学習に関連して】

- 学力の低い生徒に対して、声かけをもっとしていただきたい。
- 定期テスト前に勉強がわからないところを聞きに行くのに、友達のを気にせず質問ができる時間を放課後に一時間でも作っていただけると、子供も質問に行きやすくなりよいと思います。個人で聞きに行くのは、結構勇気がいるみたいです。よろしくお願いいたします。
- 勉強、宿題など自宅学習については、各家庭で差があると思うが、塾などに通っている子供を前提にして、宿題はあまり出さないとか、本人に任せるというのはないでしょうか？学校外で塾などに何も通わせていない家庭では不安になるので、基礎的なことが身に付くような配慮はしてほしいです。  
→ 学習については、授業中に基礎的・基本的な事柄を定着させることを目標にしています。しかし、それだけでは不十分で、家庭学習で補うよう指導をしています。  
家庭学習は（60分+学年×10分）が目安です。1年生では70分を目指してほしいと思います。さらに、主体的な家庭学習やわからないことを質問して解決する姿勢を身に付けてほしいと願います。  
これからの変化の激しい社会で生きていくためには、自分から進んで学んだり、調べたりすることが大切です。受け身の学習になってほしくはありません。  
もちろん、教員は一人ひとりの学習状況を見て、アドバイスすることも心がけていきます。学校とご家庭とで連携しながら、学習習慣を身に付けていくようにしていきましょう。（次号へ続く）

建国記念の日：建国をしのび、国を愛する心を養う国民の祝日